

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 消防団DX人材(ドローン隊員)の育成事業

自治体名

豊中市

消防団名

豊中市消防団

1 事業の目的

消防団員が、消防職員と連携してドローンを活用し、大規模災害初動時に活動隊へ被害情報の収集・共有ができる消防体制の実現を目指す

2 事業内容

大規模災害初動時の情報収集を担うため、令和5年12月に消防団員及び消防職員により構成される「豊中市災害対応ドローン隊（愛称：KITE [カイト]）」が発隊したことを背景に、ドローン隊に所属する消防団員の二等無人航空機操縦士資格の取得及び消防団員・職員が連携したドローン災害対応訓練を実施することにより、ドローン隊員である消防団員の人材育成を行い、もって消防団の災害対応力の高度化を図るとともにDX等社会環境に応じた消防団運営の普及・推進を実現する。

3 事業成果

1 二等無人航空機操縦士資格の取得

消防団員3名がドローンスクールに入校、回転翼航空機二等の試験に合格し、二等無人航空機操縦士資格を取得した。

2 災害対応訓練の実施

消防職員、消防団員が合同でドローン飛行訓練を実施し、災害対応ドローン隊における補助の役割の任務と重要性及び基本的な知識、技術を習得するとともに、消防団員の操作技能の熟練度を定量的に把握するためのNIST-SUAV+STMの模擬テストを実施した。

3 ドローンベストの整備

災害対応及び訓練時に、消防団員が着用するドローンベスト（ワッペンを含む。）を4着整備した。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
資格取得	人数	3人	3人	
災害対応訓練	回数	2回	2回	
ベストの整備	着数	4着	4着	

5 その他参考情報

